

H-IIAロケット42号機打ち上げ成功

7月20日種子島宇宙航空研究開発機構にて打ち上げを視察させていただきました。



ハリーファサット及びGOSAT-2小型相乗衛星5基を搭載したH-IIA42号機の打上げ写真

宇宙飛行士若田光一氏、JAXA理事長山川宏氏とともに、梅雨の晴れ間の種子島基地にて早朝6時58分、ロケット発射成功を視察しました。西之表市のホテルに未明4時20分に集合し、南種子町の発射基地に、まだ夜が明けぬうちに到着いたしました。基地周辺は夜が明けるとそれまでの雨模様から一転、晴天に恵まれ、無風状態で、発射に関する条件は最高の状態であると説明がありました。

本打ち上げは日本・UAE両国間の宇宙分野における協力関係の下に実現したものです。

毎日元気で活動しております 災害対策

7月豪雨により各地で大変な災害が多発しております。被災された皆様方にお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を祈念いたします。



災害現場にて



不法投棄地で土砂流出が発生した現場を視察

編集後記

「かごしま国体及び障害者スポーツ大会」の早期開催に向けた要望活動の折、右記のとおり開催共同要望書が次期開催県である三重県、栃木県、そして内定県である、佐賀県、滋賀県により鈴木大地スポーツ庁官に提出され、本県を除外した内容の要望であり、少し心外な思いでした。

本県といたしましても、県執行部並びに本県スポーツ振興議員連盟等、いろいろな形で要望活動をさせていただき、早期開催に向けた活動を今後も続けてまいります。

スポーツ庁長官
鈴木大地様

新型コロナウイルス感染症の影響下における国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の開催に向けた開催県共同要望書

令和2(2020)年6月11日
三重県、栃木県、佐賀県、滋賀県



タウンメール
配達地域指定

大隅は、ひとつ 正々堂々 第34号 堀之内よしひら県議会報告



青少年の健全育成を！ 地域の声を県政に！

残暑お見舞い申し上げます

〈副議長に就任!〉

梅雨前線が引き起こした豪雨災害は、全国の死者が70人を超え、豪雨災害復旧に政府は4千億円を投入し、特定非常災害に指定しました。

県内でも南さつま市で1人、九州では熊本県を中心に68人の犠牲者が発生しました。亡くなられた方々

のご冥福をお祈りし、多くの被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く、もとの生活ができますようご祈念申し上げます。

また、新型コロナウイルス患者は国内で3万人を超え、県内感染者も200人以上で、多くの集団感染が発生し、多方面に悪影響が出て心配しております。

「東京オリンピック」の開催も1年延期を余儀なくされ、本県ではオリンピック後に開催される予定であった「国民体育大会」も先の見えない状態での延期が決まりました。

6月議会終了とともに、東京のスポーツ庁、スポーツ協会、障害者スポーツ協会に鹿児島県議会スポーツ振興議員連盟会長として国民体育大会の早期開催について要望活動を行ってまいりました。

さて、県政においては先の3月定例県議会で投票の結果(51票中46票)、新副議長に選出されました。これも一重に今まで長い間、皆様方にご支援いただいた賜物であると肝に銘じ一層の精進を致す所存であります。

さらに、新たな若い知事が誕生しました。喫緊の課題である新型コロナ対策、その後の落ち込む経済の立て直し、また豪雨災害対策等、本県にとって多くの課題があります。

今後も議会と執行部の両輪で真摯に向き合い、支援策を講じてまいりますので一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

まだまだ暑い日が続きます。新型コロナウイルス感染症も懸念されます。皆様方におかれましてはくれぐれも健康に留意されまして、ご活躍されますように心からお祈り申し上げます。



(2020年6月9日一般質問：議長席にて)

鹿児島県議会議員 堀之内よしひら

発行元：垂水市田神59の5

◎ 新県知事に塩田康一氏当選

無所属新人で前九州産業省の塩田康一氏（54歳）が22万2千票余りを獲得し、2期目を目指した現職の三反園訓氏（62歳 自民公明推薦）等、6候補を破り、初当選を果たしました。

戦後最多の7人が立候補する混戦模様で、保守系3人（現職の三反園氏、元職伊藤祐一郎氏、新人の塩田康一氏）の激しい戦いを、若さと「県政刷新」「前でもない、今でもない」と、新しい県政を打ち出し、幅広い支持を得て当選しました。

県政史上稀な、激しく複雑な知事選でしたが、戦いが終わればノーサイド、新しい、若いリーダー新塩田知事と県議会もしっかり向き合い、県民の最大の幸福の為、県政を構築してまいります。

塩田康一氏の公約

「県民の皆さまと一緒に鹿児島は今と未来をつくる」を基本に「誠実に」「着実に」県政に取り組みます。



（7月28日
知事が就任挨拶に執務室に来られました）

① 新型コロナウイルス感染拡大防止と経済立て直し

県民の命と暮らしを守ることを最優先に感染症対策の実施、万全の財政支援措置

② 脱原発への対応

3号機増設は凍結。1、2号機の20年延長は県の専門委員会で科学的、技術的検証を徹底する。

③ 県民が豊かになる産業振興

農林水産や観光関連産業、地域経済をけん引する中小企業の「稼ぐ力」を引き出す積極施策、ヘルスケアなど新産業振興や起業支援

④ 優しく働きやすい福祉の実現

介護人材の育成・確保推進とともにIT機器やロボット導入促進、婚活プロジェクト支援と保育サービス充実、動物殺処分0を目指す

⑤ 多様な魅力を持つ離島は、鹿児島之宝

「暮らしやすい、働きやすい、また行きたい、定住したい」と思う島づくり。蓄電池を活用した地産地消型再生エネルギー推進、LCC新設やジェット機就航による観光客増大

⑥ アジア中核都市の実現

ドルフィンポート跡地に国際会議場・展示場整備を検討

⑦ 鹿児島が誇れる人づくり

郷土教育や地元企業インターンシップ充実、県立楠集中高の共学化と全寮制廃止

⑧ 県民が安心できる行政づくり

透明で開かれた県政運営、女性の積極登用

◎ 県議会の要望活動

「かごしま国体」及び「全国障害者スポーツ大会」の開催に向けて

本県にとって「太陽国体」以来48年ぶりとなる「かごしま国体」と、本県で初めての開催となる「全国障害者スポーツ大会」は、国内最大のスポーツの祭典で、本県の多彩な魅力を全国に発信し、県民に夢と希望を与えるものであり、その開催を県民は心待ちにしております。

本県では、これまで官民一体となって両大会の多くの関係者の皆様が開催に向けて準備を積み重ねてきており、本県議会においても、平成22年度に「開催誘致」を決議して以降、執行部とも連携し、両大会を成功させるべく積極的に取り組んでまいりました。

このような中、新型コロナウイルス感染症の拡大が、社会経済活動に甚大な影響を及ぼしており、スポーツ界では東京オリンピック・パラリンピックの延期、全国高校総合体育大会の中止などが決定され、「かごしま国体・大会」においてもブロック大会やリハーサル大会などの中止を余儀なくされているところであります。

両大会は、選手・役員や一般観覧者など約80万人という多くの方々の来場が見込まれる全国レベルの大規模イベントではありますが、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンが現時点で存在せず、治療法も確立されていない中での開催となり、再度、感染が拡大する恐れがあることを考慮すると、本県に来られる選手、監督を含めた多くの人々や県民の安全を確保した上で、今年秋に両大会を開催することは残念ながら困難な状況にあると申し上げざるを得ません。

こうしたことから、「公益財団法人日本スポーツ協会」「公益財団法人日本障がい者スポーツ協会」「文部科学省・スポーツ庁」及び本県の関係四団体において、「かごしま国体・大会」は今年秋には開催しないこと、その上で両大会は延期することとし、具体的な開催時期については可能な限り早期の結論を得るべく引き続き、調整・検討を継続することが決定されました。

本県としては、万全の態勢のもと、両大会に全国の皆様を受け入れる所存であります。

つきましては、新型コロナウイルス感染症収束後において、既に開催が決定している自治体にも十分御配慮いただくとともに、かごしま国体・大会のできるだけ早い時期の本県での開催について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年6月22日
鹿児島県議会スポーツ振興議員連盟
会長 堀之内 芳 平



（公益財団法人日本障害者スポーツ協会にて）



（スポーツ庁にて）



（公益財団法人日本スポーツ協会にて）